

# 2026年度 事業計画書



学校法人 藤田学園  
FUJITA ACADEMY

# 2026 年度事業計画書

## 目次

はじめに .....	1
事業計画の骨子 .....	2
事業計画概要 .....	4
1. 教育推進本部 .....	4
2. 医学部/大学院-医学研究科 .....	6
3. 医療科学部/大学院-医療科学研究科 .....	8
4. 保健衛生学部/大学院-保健学研究科 .....	10
5. 研究推進本部 .....	12
6. 橋渡し研究統括本部 .....	14
7. 藤田医科大学病院（第 1 教育病院） .....	15
8. 藤田医科大学 ばんたね病院（第 2 教育病院） .....	16
9. 藤田医科大学 七栗記念病院（第 3 教育病院） .....	17
10. 藤田医科大学 岡崎医療センター（第 4 教育病院） .....	18
11. 藤田医科大学東京 先端医療研究センター .....	20
12. 地域包括ケア中核センター .....	21
13. 法人本部 .....	22

発行時期  
2026 年 6 月

はじめに

— All Fujita の精神で、研究・医療・教育のトップ 10 へ —

2026 年は、燃え盛る火勢のごとき「情熱と行動力」を象徴する丙午（ひのえうま）の年です。私たちはこのエネルギーを原動力に、“All Fujita”の結束をもって、研究・医療・教育のあらゆる局面で果敢に前進してまいります。人口減少や経営環境の悪化など社会情勢が厳しさを増す中であっても、藤田学園が提供する価値は着実に拡がり続けており、これは現場の創意工夫と教職員一人ひとりの不断の努力によるものです。

まず、昨年度は「橋渡し研究支援機関（TR）」の認定、「地域中核・特色ある研究大学強化推進事業（J-PEAKS）」や AMED「医学系研究支援プログラム（総合型）」の採択など、本学の競争力が国から改めて認められた一年でした。これらの成果を礎とし、本年度は大学の最重要プロジェクトである「臨床研究中核病院（臨中）」の承認取得に向けた組織改革を断行します。医師主導治験や国際水準の臨床研究、研究倫理・品質保証の徹底、そして論文発表力の強化を一体で加速させます。臨中承認は高いハードルであるがゆえに、成し遂げる意義は極めて大きく、藤田医科大学が名実ともにトップ 10 の医学部・大学病院群として評価される決定的な一歩となるはず です。

医療 DX の分野では、HDAC（Health Data Architecture Consortium）を軸に、国家レベルでの医療データの標準化と利活用を牽引します。本学独自のプラットフォーム「MIG（Medical Intelligent Gateway）」を中核に、生成 AI や音声入力技術を実装し、従来の電子カルテを臨床医のパートナーとして支援する「知的カルテ」へと進化させます。これにより、文書作成の効率化と安全性向上を両立させ、臨床・研究・経営の三位一体で新たな価値を創出してまいります。

先端がん医療においては、2025 年度に着工した BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）施設が、2028 年夏の臨床稼働に向けて着実に工程を進めています。セラノスティクスセンターやロボット支援手術の高度化と合わせ、合併症の低減や患者アウトカムの向上を実現します。学内横断の連携を密にし、アジア No.1 のがん診療拠点をめざして、診療・研究・人材育成を一体で推進します。

教育・国際連携・産学協創では、7 月に愛知県と共催するアントレプレナーシップ・ブートキャンプを通じ、アジアの学生と共に医療領域の実装力を磨く機会を拡充します。また、11 月開催予定の「Fujita Medical Forum」等を通じて、国際情勢の変動に留意しつつ、AI や臨床研究を核にした「知」の創出と次代の人材育成への基盤投資を継続します。

地域社会への貢献と南海トラフ地震等の災害への備えは、私たちの揺るぎない使命です。三重大学・浜松医科大学との合同訓練や、4,000 人を超える防災士の育成を通じ、有事の実践力を強化します。岡崎医療センターは「地域災害拠点病院」として行政やインフラ各社との連携を推進します。地域医療連携推進法人尾三会を中心に、「2040 年を見据えた地域医療構想モデル」の先行実践地域としての役割を果たし、平時も有事も地域を支える強靱な医療体制を構築してまいります。

# 事業計画の骨子

---

学校法人藤田学園は、日本や世界がこの先直面していく様々な課題に「研究」「教育」「医療・福祉」の分野において世界最高水準での研鑽を続けるとともに、知の力と高い実行力で課題に立ち向かい解決に取り組むことを基本とし「Fujita VISION 2030 ～その時、いちばん動ける藤田学園へ～」を掲げました。叶えるべき未来を定めたことで、私たちは何をすべきか——。一人ひとりが考えを深め行動し、そしてその実現に向けて2026年度の事業計画を策定しました。

## 1. アジア No.1 のがん研究・診療拠点へ

がん診断では、最新の放射線診断機器や人工知能を用いた新たながん診断システムの確立等により、がんの確実な早期発見をおこなう。がん医療では、Fujita 独自のがんゲノム医療の実践や、膵臓がんをはじめとする難治性がんの治療に向けた BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）の本格的な導入準備を進める。

## 2. 世界一独創的な研究拠点へ

「研究大学」の確立に向けて、橋渡し研究支援機関として先端医療技術の早期社会実装と、地域中核・特色ある研究大学として「精神・神経病態研究拠点」の確立をめざす。また、「臨床研究中核病院」の承認取得に向けて、臨床研究実施体制の強化や、医師主導治験・特定臨床研究を推進する。

## 3. 学園全体の DX 化の推進

「HDAC」による全国共通の医療情報基盤の整備と、社会実装に向けた日本の医療分野のデジタル化を推進し、サービスの効率化・医療従事者の業務負担軽減と患者さん本位の医療など医療の質の向上をめざす。また、遠隔手術の実現、ロボットの導入などスマートホスピタルの実現をめざし、医療の将来を切り拓く先駆けとなる。

## 4. 経営基盤の強化

「その時、いちばん動ける藤田学園」であり続けるために、人材や施設設備等への計画的・継続的な投資をおこなう。その実現に向けて、AI の活用による日々の業務改善に努め、収益向上に寄与できる人材を育てる。さらに、学園が直面する課題に迅速に対応するため、理事長室直轄のプロジェクトを立ち上げ、「All Fujita」で部門横断的かつ主体的に課題達成に向けて取り組む体制を整え、強固な経営基盤の確立を図る。

## 5. 南海トラフ地震等に備えた「災害時医療」の確実な実行

各大学・企業・自治体との相互連携を推進させ、大規模災害に備えた学園の防災体制をより一層強化させる。藤田医科大学・三重大学・浜松医科大学での災害時医療連携における3大学会議の継続実施、また防災士資格を取得した学生・教職員による地域の防災力向上に貢献する。さらに、新興感染症や大規模な災害発生初期の患者を迅速に受け入れる施設となる「臨時医療施設」の設置を愛知県と連携し、整備を進める。

## 6. グローバルな新医療人の創出

海外トップレベル大学との MOU 連携を強化し、学生および教育者・研究者の相互交流を活性化させ、国際的に活躍できる人材を創出する。また、Fujita Medical Forum の開催を継続し、国際社会で躍動できる人材育成を進める。

## 7. 高度医療人材の養成に向けた教育環境の整備

「未来の医療」を担う高度医療人材の養成に向けて、大学病院における教育・研究・診療の機能維持と最先端医療設備を活用した臨床実習等の教育環境を充実させ、学生時代より研究に邁進するマインドを育てる。また、時代の要請に合った教育改革の推進に向け、新学科・新研究科となる「医工共創学科・医工学社会共創研究科」の開設をめざす。

## 8. 4 病院の強みを伸ばす病院運営

第 1 教育病院は大学病院の運用改善、待ち時間短縮等、診療の効率化を進めることでサービス向上を図り、より多くの患者さんに国際水準の質の高い安全な医療を提供する。第 2 教育病院は機能整備Ⅱ期・Ⅲ期計画の準備を進めるとともに、強固な財務基盤を確立させる。第 3 教育病院は七栗地区将来構想を見据えた健全経営をおこなう。第 4 教育病院はがん医療、救命救急、外来機能強化等さらなる地域貢献に寄与する。

## 9. 羽田事業の推進

臨床研究と臨床現場を近づけ、保険診療におさまらない高度医療を提供すべく、最新の医療機器と研究施設を備えた他に類を見ない医療施設として整備の推進と、首都圏における医療業界内の認知度・評価の向上を図る。また、特定の地域に留まらずグローバルな認知度を高め、国内外から安心して受診できる体制の構築と普及に努める。

## 10. 世界のモデルとなる地域共生社会と地域包括ケアの実現

超高齢化に対応できる地域包括ケアと誰ひとり取り残さない地域共生社会の構築をめざす。また、地域で暮らし続けることができる高度な在宅看護の実践や、自分らしい暮らしを継続支援するためのケアマネジメントの実施をめざす。

## 11. 人も社会も職員も大切にする藤田学園へ

教職員一人ひとりがプライドを持ち、働きがいのある職場づくりに向けて、新たな人事制度の導入、福利厚生制度の拡充、教職員のエンゲージメントを高めるための取り組みの実施、健康経営活動を推進する。また、ダイバーシティ&インクルージョン実現に向けて、人材の多様性を認め、交流を拡げ、その多様性を活かす就業・教育環境と制度の整備を進める。

藤田学園は、教育機関や医療機関という既存ジャンルを超えた存在として、未来社会のあらゆる課題に All Fujita で挑み、医療を通じた社会貢献をおこなってまいります。

# 事業計画概要

## 1 教育推進本部

### 【教育】

- I. 社会課題を解決できる研究能力を備えた人材の育成
  - ① 研究マインドを持った学生の増加に向けた SRP<sup>1</sup>の充実
  - ② 数理・データサイエンス等の情報科学系授業の積極的な導入
- II. 地域医療の質的向上に貢献できる高度かつ感受性に富んだ専門的職業人の育成
  - ① 学生のキャリア形成を支援する教育の提案・企画
  - ② 高度医療人育成に向けた教育カリキュラム改革
  - ③ 社会常識を深く理解し、人にやさしい愛のある医療を実践できる人材の育成
- III. 国際的に活躍する人材の育成
  - ① 海外の大学との MOU<sup>2</sup>締結による学生および研究者の相互交流の推進
  - ② 英語教育カリキュラムの強化
  - ③ AI×MedTech アジアイノベーションチャレンジ 2026 の実施
- IV. 防災・減災に係る教育の推進
  - ① 全学生の防災士資格取得およびアセンブリ教育における防災の推進
  - ② 学生防災士の組織化

### 【経営】

- I. 業務の DX 化推進
  - ① 積極的なデジタル技術（AI 等）の導入による業務改善の推進
- II. 時代の要請に合った教育改革の実施
  - ① 医工学イノベーションの創出を目的とした「医工共創学科」および「医工学社会共創研究科」の開設
- III. 大学院の国際化
  - ① 優秀な外国人留学生の獲得

### 【社会貢献】

- I. 地域の課題解決に向けた支援策の実施
  - ① 地域の医療機関とコンソーシアムを構築し、地域の医療機関が抱える課題の解決の実施
  - ② 地域の中学生および高校生等を対象としたアントレプレナーシップ教育等の実施
  - ③ 自治体等が地域住民を対象に実施する体力向上および健康教育の支援の実施

---

<sup>1</sup> SRP (Student Researcher Program) : スチューデントリサーチャープログラム

<sup>2</sup> MOU (Memorandum of Understanding) : 学術交流協定

- ④ 地域の障害者の雇用など地域社会との連携・協力の促進

## II. 地域の防災体制の支援の実施

- ① 自治体等が実施する防災訓練等への積極的な参加
- ② 一時滞在施設としてアセンブリホールを運用するための体制整備

## III. 地域貢献

- ① アセンブリホール、フジタホール、運動場の積極的な地域開放

## IV. SDGs への積極的な取り組み

- ① ダイバーシティ&インクルージョン実現に向けた取り組み

## 2 医学部/大学院-医学研究科

### 【教育】

- I. 医学研究と医療に主体的に参加する人材の育成
  - ① 新カリキュラムの導入による教育の統合と効率化
  - ② 50分授業導入と予習環境の整備
- II. 医科学に加えデータサイエンスにも習熟した人材の育成
  - ① 数理・データサイエンス・AI教育認定制度申請（応用基礎レベル）
  - ② 教育および学習における生成AIの活用促進
- III. 学術・研究活動に関与し医学を創造できる人材の育成
  - ① 医学研究演習発表会での主体的参加の推進
  - ② SRPの拡大
- IV. 広い視野を持ち国際的に活躍できる人材の育成
  - ① 海外留学前教育の新プログラムの作成
  - ② 海外留学派遣先の拡大
  - ③ 医学教育振興財団英国短期留学フェローシップへの応募推進
- V. 誠実で協調性に優れ、責任感と倫理性を有する人材の育成
  - ① 臨床実習プログラムで変更した学修成果に基づいた教育の実施
- VI. 標準医療から先端医療まで科学的根拠に基づいた医療を実践する人材の育成
  - ① 50分授業による先端医療教育の実施
- VII. 質の高い研究活動を継続的にこなう学生の確保とグローバル化の推進

### 【研究】

- I. 高度医療人材の養成
  - ① 研究マインドを持った学生の育成
  - ② 大学院進学者の増加
- II. 独創的な研究に挑む人材育成に向けた大学院教育の刷新
  - ① がんプロフェッショナルコースの運営
- III. 学位論文研究による学位取得率および学位論文の質向上
  - ① 英文国際誌掲載原著論文を原則とする学術水準の高い学位論文の執筆

### 【経営】

- I. 時代の要請にあった教育改革の実施
  - ① 医工学イノベーションの創出を目的とした「医工共創学科」の設置
- II. 働き方改革の実現

① ICT<sup>1</sup>の活用による業務効率化

Ⅲ. 競争的資金の獲得推進

**【社会貢献】**

I. 病院経営を担うトップリーダーを育成する専門職大学院の運営体制確立

① 分野別認証評価の受審

---

<sup>1</sup> ICT (Information and Communication Technology) : 情報通信技術

### 3 医療科学部/大学院-医療科学研究科

#### 【教育】

- I. アウトカム基盤型教育の改善
  - ① アセスメント実施方法の改善
  - ② 入試・教務・社会活動等の IR<sup>1</sup>分析データの一元化
- II. 多様な学習機会の提供
  - ① 新たな学習支援事業の企画と運用
  - ② キャリア教育プログラムの見直し、企画
  - ③ 主体的学修のための教育方法促進
  - ④ IR を活用した現状評価
  - ⑤ 数理・データサイエンス・AI を用いた教育
  - ⑥ インターンシップ（国内外）の促進
  - ⑦ 学生の英語力の向上
- III. 多様な入学試験の実施
  - ① 入試制度の評価および分析による検討
  - ② 次年度入試に向けた効果的な広報の実施

#### 【研究】

- I. 学内・学外の教育・研究拠点との共同研究環境の整備および推進
  - ① 外部資金の獲得
  - ② 戦略的な研究の知財化
  - ③ MOU 締結校の拡大
  - ④ MOU 校との事業の計画と実施
- II. 次世代研究を推進する仕組みの整備および推進
  - ① 学部内でのヘルスケア研究の重点項目の策定
  - ② 異分野との連携によるヘルスケア研究の推進
  - ③ SRP を活用した次世代人材の育成
- III. グローバル化の推進
  - ① 外国人留学生受け入れ、交換留学、シーズンスクール等の実施
- IV. 学部教育と連動した教育研究体制の確立
  - ① 医療科学研究科発足に伴う科目履修・研究指導の刷新および新しいカリキュラムの運用
  - ② SRP 開始に合わせた講義科目の拡充の検討
  - ③ 研究科内外の研究組織との連携による講義科目の検討

---

<sup>1</sup> IR (Institutional Research) : インスティテューショナル・リサーチ

- ④ 遠隔授業と対面授業の特長を生かした効率的な授業形態の分析と評価
- ⑤ 高度医療職養成の拡充の検討

### 【医療・福祉】

#### I. 藤田医科大学病院および外部医療機関との連携強化による臨床教育研究の発展

- ① 学部から中央診療部門への臨床連携の実施
- ② 中央診療部門から学部への教育連携の構築と実施
- ③ 臨床連携を基軸とした研究連携の検討・実施
- ④ 大学病院も含めた系列病院 5 拠点と医療科学部との人事交流の検討
- ⑤ 東海地域医療機関との連携の検討
- ⑥ 国内・海外の大学および関連医療施設との連携の検討

### 【経営】

#### I. 時代の要請に合った教育改革の実施

- ① 次世代医療人材を養成するための教育の検討
- ② 高度医療人材育成拠点の設置および関係機関との連携

### 【社会貢献】

#### I. 卒業生・社会人の学ぶ機会の提供

- ① リカレント教育の設計と実施

## 4 保健衛生学部/大学院-保健学研究科

### 【教育】

#### I. 科学的根拠に基づく実践力の強化

- ① 1年次と2年次における基礎学力強化対策の実施
- ② IT試験導入に向けた環境整備の開始
- ③ データサイエンスやAIを取り入れた教育の充実
- ④ 産学連携に基づく先進医療機器を活用した教育の高度化
- ⑤ 卒業研究の高度化および研究志向教育の強化

#### II. 実践統合型専門教育の推進

- ① 早期からの臨床実装力の育成
- ② 学修密度を高める短期集中型教育設計と主体的・探究的学修時間を保障するカリキュラムの再構築
- ③ 専門理解に基づく段階的キャリア選択制度の継続（キャリア教育の充実）
- ④ FNP<sup>1</sup>と特定行為区分研修看護師の育成

#### III. 多様性に対応できる実践能力の涵養

- ① 外国人留学生の確保
- ② JICA外国人研修員の受け入れ
- ③ MOU校との多文化共修・交流プログラムの推進

### 【研究】

#### I. 臨床研究推進体制の強化

- ① 特定臨床研究への主体的参画
- ② 看護・リハビリテーション領域における臨床研究の高度化

#### II. 知が融合するトランスレーショナル研究の推進

- ① 産官学による先端技術の社会実装の支援  
(社会実装看護創生研究センター・ロボティクススマートホーム・活動支援機器研究実証センター)
- ② 学科内横断型研究・大学・病院横断研究の推進
- ③ 社会実装研究の展開

#### III. 国際発信力の強化と次世代研究人材の育成

- ① 英語論文の推進
- ② 若手教員の国際学会発表、国際誌投稿支援
- ③ 学部生への研究マインド涵養
- ④ 学位取得を見据えた研究指導體制の整備

---

<sup>1</sup> FNP (Fujita Nurse Practitioner) : 藤田診療看護師

## 【医療・福祉】

### I. 地域そして世界から頼られる実装型医療拠点の形成

- ① 共同研究支援や実証研究推進による先端技術の社会実装
- ② まちかど保健室、訪問リハビリテーションの高度化や健康増進プログラム展開による地域包括型医療・福祉モデルの構築
- ③ 大学病院における臨床研究機能の強化と研究人材配置による臨床研究の高度化と拠点形成

## 【経営】

### I. 時代の要請にあった教育改革の実施

- ① 高大連携を通じた受験生獲得
- ② 入学定員の適正化

### II. 教育・臨床研究・社会実装を加速するための戦略的資源配分の推進

- ① 競争的資金の獲得推進を軸とした教育・臨床研究・社会実装推進体制の確立

## 【社会貢献】

### I. 防災対応力の強化

- ① 防災訓練の充実
- ② 専門家研修会の定例化等による防災人材の育成・質向上

## 5 研究推進本部

### 【研究】

- I. 地域中核・特色ある研究大学として「精神・神経病態研究拠点」の確立と共同研究の推進
  - ① 精神・神経病態研究拠点としての本格稼働
  - ② 連携大学・機関との共同研究の推進
  - ③ 国内外の参画機関との連携強化
- II. JST<sup>1</sup>、AMED<sup>2</sup>、経済産業省等が進める大型プロジェクトへの参画
- III. 研究活動の促進に向けた制度やプログラムの導入
- IV. スタートアップ支援と環境整備
  - ① 起業相談窓口を通じた起業相談と起業支援（起業済みスタートアップ支援含む）
- V. 中長期的な視点での医工学次世代人材の育成
  - ① 医療科学部やキャリア教育センターとの連携による講義への協力ならびに学内外における次世代医工学人材の育成
- VI. 各分野における新たな研究の推進
  - ① CAR-T 細胞、ES 細胞、iPS 細胞由来の再生 CTL を用いた感染症治療法開発のための非臨床研究の推進
  - ② 細胞内シグナル伝達、ゲノム、iPS 細胞解析を基盤とした精神・神経疾患治療薬のシーズ探索と創薬展開
  - ③ 再生医療研究における豊明・羽田間の連携推進
  - ④ イノベーションセンター入居企業との共同研究の推進と新規研究の需要創出
  - ⑤ 感染症分野における病態メカニズムの解明と治療薬・ワクチンシーズの創出
  - ⑥ ファルコバイオに続き LSI メディエンスとの事業推進
  - ⑦ 統合的腫瘍微小環境解析システムの構築と治療感受性判定法の確立
  - ⑧ リキッドバイオプシーシステムによる早期がん診断法の確立
  - ⑨ 線維症治療創薬の推進（スクリーニングによる候補化合物の同定）
  - ⑩ 血漿中 cell free DNA のメチル化解析による原発不明癌検出法の確立
  - ⑪ 免疫環境を反映する新規がんゲノム解析法の開発
  - ⑫ AI を活用した臨床研究支援システムの構築
  - ⑬ 新規アミノ酸 PET（F-BPA PET）を用いた特定臨床研究の推進
  - ⑭ 新規 LAT1 阻害剤を併用した腹部深部がんへの BNCT<sup>3</sup>適応拡大治験の推進

---

<sup>1</sup> JST（Japan Science and Technology Agency）：国立研究開発法人科学技術振興機構

<sup>2</sup> AMED（Japan Agency for Medical Research and Development）：国立研究開発法人日本医療研究開発機構

<sup>3</sup> BNCT（Boron Neutron Capture Therapy）：ホウ素中性子捕捉療法

**【経営】**

- I. 競争的資金（間接経費）獲得

**【社会貢献】**

- I. 精神・神経疾患を中心としたアカデミア創薬エコシステムの実現
  - ① 橋渡し研究シーズ探索センター所属の製薬企業出身 PM<sup>1</sup>との連携強化と創薬プラットフォームの構築
- II. 社会共創に向けた企業連携基盤の整備
  - ① 企業教育の企画および体制構築とその実施

---

<sup>1</sup> PM (Project Manager) : プロジェクトマネジャー

## 6 橋渡し研究統括本部

### 【研究】

- I. 橋渡し研究支援機関として社会実装に向けた橋渡し研究の推進
  - ① 学内・学外シーズ発掘の拡充
  - ② 異分野融合コンソーシアムの拡大
  - ③ シーズの評価と選考システムの再評価
- II. 基礎シーズから非臨床、臨床試験への早期実現をめざしたプロジェクトチーム体制の構築
  - ① PM を中心とした適材適所のチーム編成
  - ② 多職種連携チームの伴走支援の実施
- III. 橋渡し研究シーズの供給拠点となる C-DAM<sup>1</sup>の強化に向けた加盟校の増加と連携の強化
- IV. CRC<sup>2</sup>、PM をはじめとする研究支援人材の育成および橋渡し研究拠点の基盤強化
  - ① 橋渡し研究教育セミナーに関するテーマ、コンテンツの充実化
  - ② 臨床研究に係る課題の情報交換、教育機会を得る臨床研究担当者会議の充実
  - ③ 習熟度に応じた教育コンテンツの充実によるシーズ進捗を担当する研究者の研究倫理リテラシーの向上
  - ④ C-DAM 加盟校を含む他学の研究支援体制の整備の支援

### 【経営】

- I. シーズの開発支援に対する支援対価収入の増加による拠点活動の活性化

### 【社会貢献】

- I. 優れた基礎研究の成果の革新的な医薬品・医療機器等への社会実装

---

<sup>1</sup> C-DAM (Consortium for Development of Advanced Medicine) : 先端医療開発コンソーシアム

<sup>2</sup> CRC (Clinical Research Coordinator) : 治験コーディネーター

## 7 藤田医科大学病院（第1教育病院）

### 【医療・福祉】

- I. アジア No.1 のがん診療拠点に向けたがん治療・がん診断治療の推進
  - ① セラノスティクスセンター稼働の推進と拡大
  - ② 放射線治療の拡充（BNCT 等）によるがん治療の推進
- II. がんゲノム医療拠点病院の指定に向けた取り組み
  - ① 当院独自のがんゲノム医療の実践
- III. 外科領域のロボット支援手術の推進による最先端医療・低侵襲手術の充実
- IV. 医療 DX の推進とスマートホスピタル化の実現
  - ① 搬送用ロボットの利用拡大による医療者負担軽減や業務効率化の推進
  - ② 人工知能（AI）を用いた新たながん診断システムの確立
  - ③ 医療の DX 化、医療情報の有効活用の積極的な推進
  - ④ 堅牢なセキュリティ基盤の構築

### 【教育】

- I. 藤田スピリットを継承する人材の育成
  - ① ホスピタリティ向上に向けた接遇教育の実施
  - ② 高い臨床研究リテラシーを持つ医療者の教育・養成

### 【研究】

- I. 基礎研究・臨床研究の推進
  - ① リサーチマインドの育成と臨床研究の推進
  - ② グローバルでの競争を意識した次世代研究の推進
  - ③ 臨床研究中核病院認定取得に向けた取り組みの実施

### 【経営】

- I. 病院経営のための財務基盤の確立
  - ① 弾力的な手術室運用の継続
  - ② 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践
- II. ワークライフバランスおよびダイバーシティの推進
  - ① 休暇の取りやすい勤務環境の推進
  - ② 男性職員の育児休暇取得や育児短時間勤務取得の更なる推進

### 【社会貢献】

- I. 基幹災害拠点病院としての責務を果たすべく南海トラフ地震に備えた医療提供体制の構築
  - ① 基幹災害拠点病院機能の充実
  - ② 重篤救急患者の救命医療をおこなうための高度な診療体制整備

## 8 藤田医科大学 ばんたね病院（第2教育病院）

### 【医療・福祉】

- I. 病院機能整備の拡充と円滑な病院運営および地域や社会のニーズに応える体制の構築
  - ① 機能整備Ⅱ期、Ⅲ期計画の立案
  - ② 食事の安全かつ効率的な提供システムの構築
  - ③ 連携施設の拡大と信頼関係の強化
  - ④ 救急機能の体制充実
  - ⑤ 地域がん診療連携拠点病院指定要件の達成に向けた体制整備
  - ⑥ より安全で質の高い放射線治療の推進
- II. 患者視点でのホスピタリティの向上
- III. 医療DXの推進とスマートホスピタル化の実現

### 【教育】

- I. 藤田スピリットを継承する人材の育成
  - ① ホスピタリティ向上に向けた接遇の実施
- II. 病院経営教育の実施

### 【経営】

- I. 病院経営のための財務基盤の確立
  - ① 弾力的な手術室運用の継続
  - ② 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践
- II. 働きがいのある職場環境づくり
  - ① 多職種連携の強化等による業務効率化と業務負荷軽減
  - ② 育児休暇、育児時短勤務の推奨等によるやりがいのある職場づくり

### 【社会貢献】

- I. 地域や社会のニーズに応える体制の構築
  - ① 大規模災害に備えた拠点間連携を含む災害対策の確立
  - ② 地域活動への参画とつながりの強化

## 9 藤田医科大学 七栗記念病院（第3教育病院）

### 【医療・福祉】

- I. 特色ある医療・介護の質を充実させ、専門性のある病院としての地域定着
- ① 総合的がん治療の実施、緩和におけるテーラーメイド治療の確立
  - ② リハビリテーション医療の特色の強化
  - ③ 内科診療の維持・強化
  - ④ 歯科口腔環境の維持向上と地域ニーズの提供

### 【教育】

- I. 学生・教職員の教育体制の整備
- ① 特定看護師、認定看護師等の医療従事者の育成と医療提供レベルの評価の実施
  - ② 実習受け入れ校の拡大や多職種実践型チーム医療体験の導入

### 【経営】

- I. 地域ネットワークの強化
- ① 臨床各科・部と入退院支援課・訪問事業部との連携による在宅医療、急性期病院との共同活動
- II. 働きがいのある職場環境づくり
- ① 働きがい向上に向けたプロジェクトの評価
  - ② タスクシフト／タスクシェアの推進
- III. 環境改善計画および患者・職員・学生満足度向上
- ① 患者満足度向上に向けた調査の実施および改善提案
  - ② 教職員の職場環境改善
- IV. 経営改善に向けた戦略企画の立案および実施
- ① 10年後を見据えた VISION 立案と七栗校地の活用の検討
  - ② 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践
  - ③ 訪問事業部への安定した紹介と医療保険利用者増加（緩和・精神等）
  - ④ 訪問看護事業所の3箇所目設置の検討
  - ⑤ 光熱水費・材料費動向と対策を開始（節約と方法の変更）
- V. ブランド力アップに向けた関連施設、関係者への広報活動の実施

### 【社会貢献】

- I. 地域連携強化と地域貢献
- ① 行政との協定に基づく教育を含む地域啓発活動
  - ② 災害時の体制整備と地域連携の明確化

## 10 藤田医科大学 岡崎医療センター（第4教育病院）

### 【医療・福祉】

- I. 安心・安全な低侵襲医療の充実
  - ① ロボット支援手術体制の拡充
  - ② 内科系疾患の低侵襲治療体制の充実
  - ③ 動脈疾患に対する血管内治療体制の充実
- II. 地域医療支援病院として地域のニーズに柔軟に対応する医療体制の構築
  - ① 地域のニーズにこたえる外来診療体制の構築
  - ② 診療エリアの拡充など外来診療機能の強化
  - ③ ICU<sup>1</sup>・HCU<sup>2</sup>の充実と体制強化
  - ④ 後方病院との連携強化、連携病院会議の充実
- III. 患者の視点に立った接遇向上の取り組み
  - ① 診療の効率化、待ち時間短縮の推進
- IV. 医療DXの推進とスマートホスピタル化の実現
  - ① 自宅からのカルテ情報閲覧による診療サポート体制の確立

### 【教育】

- I. 患者本位で質の高い医療を提供できる人材の育成
  - ① 医師が集まる質の高い診療と研究の拠点整備
  - ② 高度な医療を提供するための機能強化と環境整備

### 【経営】

- I. 働きがいのある職場環境づくり
  - ① タスクシフト／タスクシェアによる働き方改革の推進
  - ② 健康的なワークライフバランスの実現
  - ③ 職員満足度の向上
- II. 病院経営のための財務基盤の確立
  - ① DPC<sup>3</sup>病院として医療の標準化の推進
  - ② 断らない救急受け入れ体制の持続
  - ③ 医療連携施設の拡大強化
  - ④ 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践

---

<sup>1</sup> ICU (Intensive Care Unit) : 集中治療室

<sup>2</sup> HCU (High Care Unit) : 高度治療室

<sup>3</sup> DPC (Diagnosis Procedure Combination) : 診断群分類包括評価

**【社会貢献】**

I. 災害拠点病院として地域を支える医療提供体制の構築

- ① 災害拠点病院機能の充実
- ② DMAT<sup>1</sup>体制の強化

---

<sup>1</sup> DMAT (Disaster Medical Assistance Team) : 災害派遣医療チーム

## 11 藤田医科大学東京 先端医療研究センター

### 【医療・福祉】

- I. 国際基準の最先端医療とおもてなしの提供
  - ① エビデンスに基づいた革新的かつ高度な医療の実施
  - ② 自由診療、先端医療など幅広い医療を提案し、社会の多様なニーズへ応答
  - ③ 活動長寿プログラムの推進
  - ④ 最新鋭の医療機器を用いた精密健診・検診の実施
  - ⑤ 国際基準の医療と接遇・ホスピタリティの提供
- II. 保険診療におさまらない高度医療の提供と受診の仕組み構築

### 【教育】

- I. 再生医療等における博士号取得をめざす医師、胚培養士など医療専門職の育成
- II. スタッフのリサーチマインドの向上

### 【研究】

- I. 再生医療等の普及をめざした Translational Research の実施
- II. 新規治療法の開発や創薬等、医療の進歩につながる研究の実施
- III. 医師主導治験等における羽田 CPC<sup>1</sup>の活用に向けた細胞製造体制の構築と推進

### 【経営】

- I. FEC<sup>2</sup>羽田個人・法人会員の獲得
- II. インバウンド対象国の拡大
- III. 国内外への情報発信と FMiC<sup>3</sup>のブランド構築
- IV. イベント・セミナーの積極的な推進

### 【社会貢献】

- I. 新しい医療の開発を通じて、すべての人類の健康維持への貢献
- II. 次世代医療の常識の創造、多様化するニーズへの対応

---

<sup>1</sup> CPC (Cell Processing Center) : セルプロセッシングセンター

<sup>2</sup> FEC (FUJITA EXECUTIVE CLUB) : フジタエグゼクティブクラブ

<sup>3</sup> FMiC (FUJITA MEDICAL INNOVATION CENTER TOKYO) : 藤田医科大学東京 先端医療研究センター

## 12 地域包括ケア中核センター

### 【医療・福祉】

- I. 健康寿命の延伸と療養支援の強化
  - ① 地域医療への貢献に向けた訪問看護の相談、調整機能等の強化
  - ② 質の高い訪問看護提供と専門性の可視化
  - ③ 教育・研究を通じた人材育成
- II. 自分らしい暮らしを継続支援するためのケアマネジメントの質の向上
  - ① ケアマネジメント主副担当制の本格的導入の検討および実施
  - ② ケアプラン作成手順の見直し、効率化の検討および実施
  - ③ 新居宅支援システムの導入と機能の最大限活用

### 【教育】

- I. あらゆる地域の地域包括ケアと共生社会構築のための教育支援
  - ① 厚労省老健事業において全国から選出した 12 自治体の地域課題の分析
  - ② ミクロ・マクロデータを基にロジックモデルを形成し、具体的な支援策の実践
  - ③ 東海北陸厚生局管内の自治体支援の充実化
  - ④ 医師・看護師・療法士・ケアマネージャー等の実習・教育支援の充実化

### 【経営】

- I. 働きがいのある職場環境づくり
- II. センター運営のための財務基盤の確立
  - ① 訪問件数増に向けた取り組みの実践

### 【社会貢献】

- I. 重層的支援体制整備事業における地域課題の共有
  - ① 医療介護連携の課題・対応策の検討および実施
  - ② 地域連携室との協働・連携の強化
  - ③ 介護予防事業、フレイル予防事業の検討および実施
  - ④ 総合相談を起点とした地域包括ケアの課題整理と実施

## 13 法人本部

### 【経営】

#### I. 働きがいのある職場づくり

- ① 働きがいを高める人事制度・仕組みの充実
- ② 働き方改革の推進
- ③ 人材育成の推進
- ④ 適正な人員配置と人件費構造の見直し
- ⑤ 健康経営の推進

#### II. 強固な財務基盤の確立

- ① 学園経営を踏まえた投資計画の実施（人員計画・設備投資計画等）
- ② 財務機能の強化
- ③ 寄付金の獲得に向けた取り組みの推進
- ④ 発注・物流管理の強化と効率化の推進

#### III. 施設・設備投資マネジメントの強化

#### IV. 学園 IT のスマート化・高度化に向けた取り組み

- ① 医療の DX 化、医療情報の有効利用の積極的な推進
- ② スマートホスピタルに資するシステムの構築
- ③ 学園全体の DX を支えるセキュリティの確立
- ④ 大学システム刷新によるコスト削減と業務効率化の実現

#### V. 広報機能の充実とブランド力の強化

#### VI. ガバナンス・内部統制環境の強化

### 【社会貢献】

#### I. 大規模災害に備えた取り組み

- ① 協定締結大学や機関との災害時広域連携の推進
- ② 愛知県との連携による新興感染症や災害にも対応可能な臨時医療施設整備の推進
- ③ 学園全体での合同防災訓練の実施など災害対応力の強化





学校法人 藤田学園

**学校法人藤田学園**

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

TEL:(0562)-93-2800(代)

<https://academy.fujita-hu.ac.jp/>

